

あすなろ

2026年4月14日

みみメーター 第1号

兵庫県立姫路聴覚特別支援学校

校内支援部 (文責 坪田)

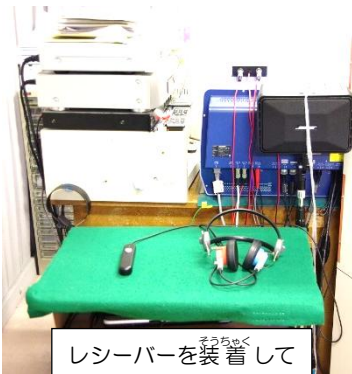
聴力測定を実施します

子どもたちのきこえの状態を把握するための聴力測定は、原則として年に2回行います。

1学期は、標準純音聴力測定(気導)と装用閾値聴力測定と語音検査(単音や単語の聞き取り等)を実施します。発音の定着確認も併せて行います。

(※保幼部については、VRA<視覚強化式聴力測定>やプレイ<遊戯聴力測定>、発音の定着確認等を個に応じて実施します。)

標準純音聴力測定



レーザーを装着して聴力を測る

装用閾値聴力測定



補聴器や人工内耳を装着して聴力を測る

補聴器特性検査



語音検査(ごんけんさ)



単音・単語の聞き取り検査

補聴器・人工内耳を持つてくのはもちろん、予備の電池や充電も忘れなさい。

校内支援部の先生紹介

部長	坪田先生 (保幼部)
保幼部	松崎先生
小学部	小林先生 神前先生
中学部	田路先生 古川先生
高等部	山下先生 浜口先生

よろしく
おねがいします

聴能担当の先生

坪田先生
小林先生



使わなくなった補聴器を寄付してください

使わなくて置いたままになっている補聴器がありましたら、ぜひご寄付ください。

授業や研修用として、大切に使用させていただきます。

自立活動に関する ニーズ調査

本校では、子どもたちが、将来の自立に向けて、必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、調和のとれた心身の発達の基盤を培えるように、四つの指導分野を設定して、『自立活動』の指導を行っています。

内容については、校内支援部通信「あすなろ」や担任との懇談を通してお伝えしていますが、本校の自立活動の指導や評価の目安として作成している『自立活動の分野別指導プログラム』を本校HP（自立活動部のページ）からダウンロードできます。この「あすなろ」も掲載していますので、ぜひ、一度パソコンやスマートフォンから、ご確認ください。

「ニーズ調査」では、聴覚学習、コミュニケーション・言葉、発音・発語、障害認識の四つの指導分野及び、その他（身体の動き・心理的な安定等）の中で、どのような学習内容が、お子さんにとって特に必要と保護者が考えておられるかを、毎年伺っています。

「ニーズ調査」に記入いただいた保護者の皆さんの思いや、懇談等で担任にお話くださったたくさんの方の声を、これからも真摯に受け止めていきます。今後も、ご家庭とよりよい連携を図りながら、子どもたちの将来の自立を目指した『自立活動』をベースに、教育活動を計画・実施していきたいと考えておりますので、本校の教育活動へのより一層のご協力をよろしくお願いいたします。

補聴援助システムについて

補聴器や人工内耳を使っている方の聞こえを援助する機器として、磁気ループシステムやFM補聴システムなどがあります。磁気ループシステムは本校の体育館や音楽室、会議室などに設置してあります。補聴器にTコイルの設定がしてある場合、マイクの音声や音楽などを補聴器や人工内耳で直接聞く事ができます。

FM補聴システムも電波を使ってマイクの音声を直接届ける機器です。現在ではFM電波に代わり、新しいデジタルの信号を用いる「ロジャー」などの機器が主流になってきています。ロジャーなどをお持ちの方で学校での使用を希望される方はご相談ください。

※ロジャーの使用を希望される方は、毎年度「ロジャー使用許可願」の提出をお願いします。



補聴器店 来校日

4・5月

< 13:10~

通級教室 >

□神戸ヒヤリングセンター	4月 9日(木)	23日(木)	5月14日(木)	28日(木)
□トーシン姫路補聴器センター	4月 17日(金)		5月 1日(金)	15日(金)

補聴器の故障や買い替え、イヤホンの作り替えの際は、補聴器店 来校日を確認して、担任にお申し出ください。